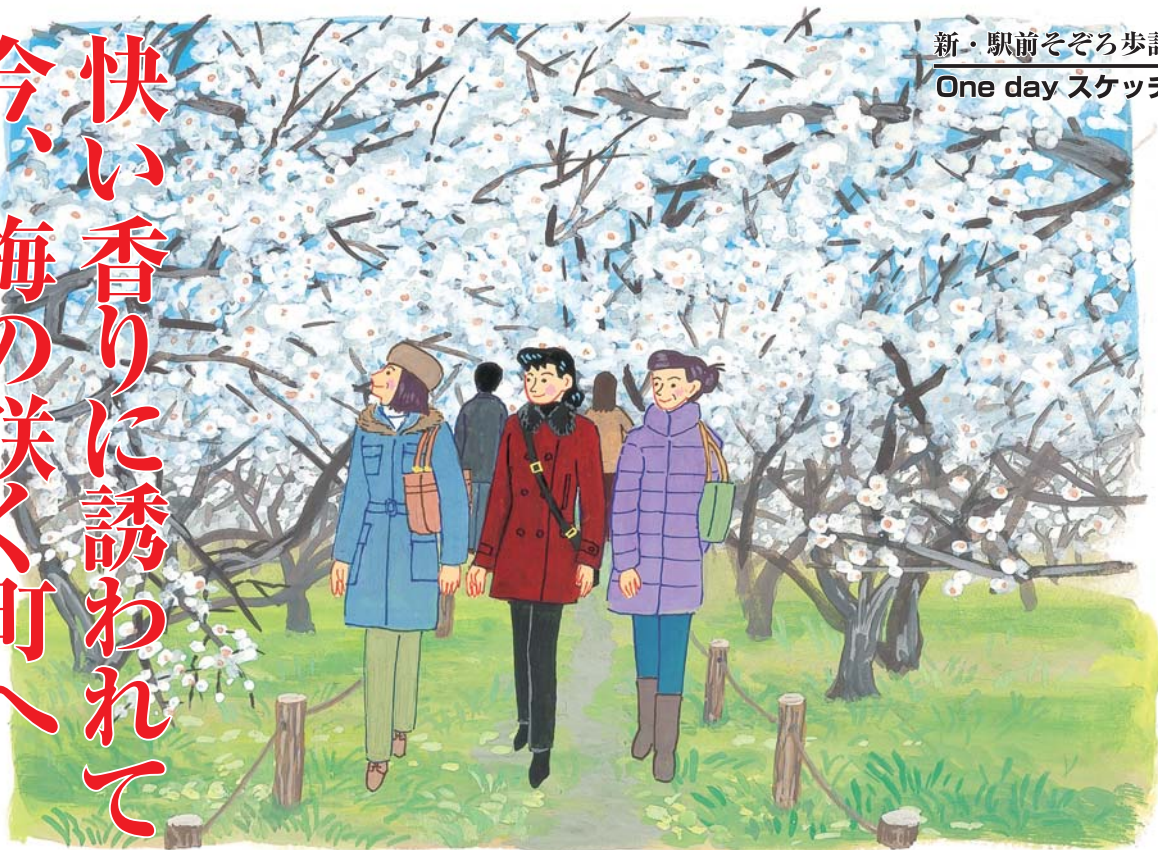


今、快い香りに誘われて 梅の咲く町へ



道子です。今日は、お友だちの細谷さん、太田さんと一緒に埼玉県の越生を訪れました。越生梅林では「梅まつり」が開催されていました。約2haの園内には600年以上前に植えられた古木をはじめ、約千本の梅が咲き誇ります。越生町全体では約2万5千本にもなり、梅の香りに包まれた旅になりました。
(MAPの①)



太田 恭子

道子の友人。「旅の醍醐味は食」がモットーのグルメ指向の主婦。



細谷 幸子

道子の友人。文学少女の面影を残す、おっとりタイプの主婦。



業平 道子

あずまの母親。小学生向けの英会話教室を経営する。趣味は園芸。

東武鉄道路線マップ



越生

(おこせ)

都心から日帰り距離にありながら、越生線の「越生」では美しい梅の郷と出会えます。特に2月11日から3月20日までは、有名な「越生梅林」の「梅まつり」。関東三大梅林のひとつだけに、園内には、貴重な古木や品種の梅が約1000本もあり、色とりどり。次々と咲き始め、見頃を迎えます。花影をSNSに乗って眺めるなど、お楽しみや郷土色豊かなイベントも人気です。この幸せな梅見を機会に、奥深い越生散策の魅力にも触れてみましょうか。



駅のそばにあった「ホテック(越生町観光案内所)」で「観光マップ」をいただき、いざ出発。ここは「法恩寺」。「越生七福神」では恵比寿を祀る真言宗のお寺。国指定文化財の釈迦三尊像のほか、多くの文化財がある古刹です。(MAPの㉔)



池袋から東上線の急行電車に乗って約45分、坂戸駅に到着。ここで越生線に乗り換え、終点の越生駅まで約20分です。越生梅林までバスも出ていますが、往きは名所もめぐりながら、歩いて行くことに。



足利尊氏の開基といわれる「正法寺」です。「越生七福神」では、大黒天を祀ります。越生で初の学校が設けられた場所でもあります。山門には山岡鉄舟が筆をふるった額がかけられていますよ。(MAPの㉕)



ここは「越生神社」。『太平記』にも登場する越生氏の居館は、このあたりにあったとか。7月の第4土曜日開催される「越生まつり」でも有名。6基の山車が曳きまわされる勇壮なもので、越生の夏の風物詩だそうです。(MAPの㉖)

「越生梅林」までは、越生駅前からバスが出ていますから訪れるのも簡単。もともと健脚の方なら、徒歩で小1時間ほど。道筋にある由緒ある社寺や史跡を探訪し、景観に触れながら巡るのも充実したコースとしておすすめです。

ちなみに、お得な「おごせ散策きっぷ」もありますよ(P18参照)。

早春の風が吹いたら、匂ひおこせよ梅の花、と菅原道真公が詠んだ平安の頃までは、花といえは梅。桜とともに春を象徴する花として、私たちに愛されてきました。今年も「梅まつり」で賑わう「越生梅林」は、水戸偕楽園・熱海梅園とともに関東三大梅林のひとつ。その歴史は南北朝の頃、九州の太宰府天満宮から「小杉天満宮」(現梅園神社)を分祀した際に植えた梅の木に始まるといわれます。現在、越辺川沿いに広がる園内は、なだらかな丘に塀もなく、自然の里山風景を活かしたまさに梅林です。ここに咲きそよい匂いたつ花々は、約1000本。野生に近い越生野梅や伝統的品種の白加賀、紅梅など…。特に、魁雪と名付けられた古木は必見。樹齢600年以上を重ねた幹は逞しく、今なお可憐な花を無数につけて観る人を癒し、美しい生命力を偲ばせます。

観梅の風流にひたりながら、ふと足元を見ると、季節ならではの福寿草が咲いていたり、点在するベンチが地元産の杉で造られているのも楽しい発見になるでしょう。もちろん「梅まつり」期間中はイベントも多く、子どもたちの大好きなミニSに乗って園内回遊もできます。

美しく咲き匂う
樹齢600年の古木も



12種類、約1万株のつつじが咲く「五大尊つつじ公園」です。毎年4月下旬から5月上旬にかけて、この絵のように見頃を迎えます。五大尊の石段(両側)には、樹齢350年以上といわれる古木も咲き誇るそうです。(MAPの⑤)



長い石段を登った先にあった「世界無名戦士の墓」です。隣接する「さくらの山公園」とともに、桜の名所になっています。石段を登りながら振り返って正面を見てみると、ほんやりと東京スカイツリー®が見えましたよ！(MAPの⑥)



学問の神様、菅原道真を祀る「梅園神社」です。天神様と縁の深い梅を植えたことが越生梅林のきっかけになったんですね。神社のスタジイ林は、埼玉県の天然記念物に指定されています。(MAPの④)



そばやうどんでも有名な越生。そこで越生梅林に近い「おそば梅乃里」で鴨南蛮そばをいただきました。手打ちならではの風味に舌鼓を打ちました。そばも美味ですが、うどんを目当てに来店するお客さんも多いそうです。(MAPの③)

あッ、東京スカイツリー®も見える！
越生を彩る、花と史跡のハイキング♪
梅の花に深い歴史があるように、越生は史跡旧跡の多い町。たとえば駅のそばに建つ「法恩寺」をはじめ「正法寺」^{しょうぼうじ}、梅林近くの「最勝寺」などは、吉例「武蔵越生七福神めぐり」でも欠かせない古刹ですし、「越生神社」は江戸時代から伝わる夏の「越生まつり」で知られます。それぞれに時を超え崇敬を集めてきた佇まいは、ちよっと足を延ばしても参詣したくなる場所です。
同時に起伏に富んだ越生界隈は、四季折々、季節の花々に恵まれた町です。梅の頃を過ぎれば、「さくらの山公園」「五大尊つつじ公園」「あじさい街道・あじさい山公園」と…次々と咲く花の見所(公園)が用意されています。越生といえば太田道灌ゆかりの地ですから、あの有名な挿話にちなみ「山吹の里歴史公園」も野趣ゆたかな水車小屋とともに造園されました。いずれも景勝の地であるためのハイキングコースも整備されていますから、また訪れてみたくなる人も多いいはず。イラストマップで見当をつけ、自分流のルートを組み立てると、面白い散策が満喫できるでしょう。
そして、この梅見の機会におすすめしたいのは「世界無名戦士の墓」です。これは、第二次世界大戦で逝った全ての兵士に捧げられた白亜の慰霊塔。関東平野一帯を眼下にする山の上に建ち、その屋上テラスからの大パノラマは実に圧巻。地平線には、なんと東京スカイツリーの姿まで見えるのです。いまさらのように634mの高さを実感し、同時に「遠くまできたな」という感慨がよぎります。



「山吹の里歴史公園」です。「七重八重花は咲けども山吹の 実の一つだに無きぞかなしき」という和歌にちなんだ、太田道灌ゆかりの地です。水車小屋があり、4月には3千株のヤマブキが黄金色に輝くそうです。(MAPの㉔)



源頼朝が部下に命じて創建させたという「最勝寺」。「越生七福神」では福祿寿を祀ります。室町後期に關東一円で活躍した医聖・田代三喜の碑もあります。毎年、冬至には来年の吉凶を占う星祭りも行われるそうです。(MAPの㉑)



梅まつりでは、梅林の中をミニSLが走ります。

越生データファイル

★越生観光にはお得な「おごせ散策きっぷ」をご利用ください(P18参照)
 〈オーティック (越生町観光案内所)〉・・・●交通=越生駅徒歩1分
 ●営業時間=9:00~17:00 *年中無休(年末年始を除く)
 ☎049-292-6783
 〈越生梅林 梅まつり〉・・・●開催期間=2月11日(土)~3月20日(火)
 8:30~17:00 ●交通=越生駅から黒山行きバスで「梅林入口」
 下車徒歩1分 *土日の混雑時には臨時バスあり ●入園料=200円
 (中学生以上) ●ミニSL(1周253m)=200円(2歳以下無料)
 *2月は土日のみ、3月は毎日運行(10:30~15:00)*雨天の場合、
 運休あり ●観光ボランティアによる見どころ案内「梅香る史跡めぐり」
 =2/18(土)、19(日)、25(土)、26(日)、3/3(土)、4(日)、10(土)、
 11(日) 各13:00~14:30 ☎オーティック☎049-292-6783
 ●東武健康ハイキング「梅かおる越生梅林をめぐる里山ハイキング」(3/3
 開催)=P17参照
 〈おそば 梅乃里〉・・・●交通=越生駅から黒山行きバスで「梅林入口」
 下車徒歩1分 ●営業時間=11:00~18:30(売り切れ次第終了)
 ●定休日=水曜、第3木曜 ☎049-292-4963